

拓

9月号
No. 288

発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産改良普及協会
〒652 神戸市兵庫区中の島2の2の1
兵庫県漁業協同組合
連合会
会長理事 山田 岸 松
TEL 681-6954~7
一部 10円

子供らを励ます

海難遺児を励ます全国のつどい

皇太子・同妃殿下を お迎えして

(社)漁船海難遺児育英会(鈴木善幸理事長)が設立されて今年で10年。これを記念して、漁船海難遺児を励ます全国のつどいが8月30日、緑に開かれたオリピック記念青少年総合センター(東京)で皇太子殿下・同妃殿下・農林水産大臣・文部大臣をお迎えして催された。

中学2年生遺児養育生・同母親代表をはじめ、〇〇名が参加、本県からも、〇〇名が参加した。

このつどいは「漁業に力をはられるように」として、多くの仲間たちを励まして、二九日夕には同センターの堂々たる、仲間たちの残した多くの子供らを励ました。全国交流の夕べが催され、社会有用の人材に育成した四〇〇名の奨励することを願うもので、学生たちは元気いっぱい、これを記念して同会には、賞品を手いっぱい、喜びの歌、楽しい夕べを、今後の事故防止に一層の努力をした。

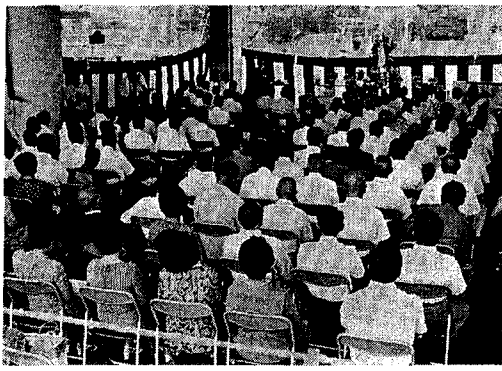
式典は翌日午前10時に照とうを捧げて始まった。



交流の夕べでたのしいひととき

が答辞を説いて式典は閉会。つづく第三部では賑やかな交流の雰囲気も一転、た式典の雰囲気も一転、

- ### △系統団体の動き▽ 8月
- 一日 全国漁業代表者緊急集会
 - 二日 北淡町漁業振興協議会
 - 四日 但馬地域推進会議(信濃連)
 - 五日 公益基金、基協会会費監査
 - 六日 専務委員会
 - 七日 兵庫県神戸市水産振興協議会
 - 八日 県本務大臣を問む懇話会
 - 〇日 豊漁祈願祭
 - 一日 但馬地区協議会(県漁連)
 - 二日 中四国漁連の共販協議会
 - 七日 河本 原副大臣懇談会
 - 八日 漁政対策委員会(県漁連)
 - 九日 内海地区推進会議(共済連)
 - 二〇日 正副会長会(県漁連)
 - 二二日 農村漁業審議会
 - 二三日 のり流通業者生産者会議(県漁連)
 - 二五日 県漁港大会
 - 二九日 漁政懇話会幹事会
 - 二九日 のり製向上講習会(県漁連)
 - 三〇日 のり製向上講習会(淡路)



「稚魚よ飛翔せよ！」

第六回豊漁祭が神戸市で

第六回豊漁祭が八月十日日曜日、神戸市漁協に於て開催された。

二百海里時代の到来、石油燃料価格の高騰等により沿岸漁業の使命は益々重大なものとなり、又栽培漁業への移行も自然の・社会的にも必然化するものである。

そのことを考えた本県漁業は漁業振興の安全と水産資源の保護を主眼とするものであり本年度も百五十名もの参加を賜わり、午後一時から盛大に取り行われた。

海神社による神事の後、須磨一海釣り公園に沖に向かって、放流先導船「はやたか」を中心として漁船約五十隻が一斉に出港した。

朝から不安げな空模様を吹き飛ばすかのように各漁船は波の上を飛翔しとび魚のような口を開きさらした。

「はやたか」乗船中の具原兵庫県漁協理事が身長四十七センチのマイを海に短す、他の放流船「兵隊丸」「さいばい」「道宝丸」も放流を始めた。放流魚は次のとおり。

マイ (子) 二万五千尾
ハマチ (子) 二十尾
その他 (子) 四千尾

なお放流先導として見た兵庫のりをテーマにしたよりブリ仔が干流放流された。午後三時、祭りはおわって、漁船約五十隻が一斉に

品質を全国一に

生産量一三億枚と全国一位を誇る兵庫のりを質的に最高にしようと、講師に(株)松谷のり松谷社長、(株)花菱乾物村松谷社長、愛知県水産試験場田専技の三氏を招いて、乾のり品質向上講習会が開講された。

雨にもかかわらず、姫路志筑の会場に集まった参加者は四五〇名。

講習は、消費状況と流通サイドの「品質向上」から見た兵庫のりをテーマに始まった。

色がよくキフトに多く使われている兵庫のりにも、小穴と味やわらかさが



講義に聞き入る(中央・松谷氏)

ちがいないとか。それには、自己選別で、よき穴、ヤブレ、ちぢみなどを厳選することが第一。全自動普及の影響で選別がラフになっていると、商社サイドからのクレームもあった。

製向上に向けての、一つの条件は種網の研究。品種の選別が重要。生で色がよくても焼き色がでないのはため、塩分が多かったり、うらぐもりのあるものも焼き色がでないとか。

養殖では、密殖の時は栄養が減少するので、冷蔵網をセッティングするときは、小さな芽の所に一諸に張るように。冷蔵人前には必ず運出し出すことが必要で、下出をしないと二次米、三次米が出なくなるとか。

製造工程では、短時間で製向上することがおおいのりづくりのこつ。

「三、四月のり品質の低下」については、葉が成熟し、製成するにつやがなくなり、表面が凸凹になるのが原因とみて、それには原液を海水、真水で充分にあらうことが大事だとか。

品質の向上は、生産者の努力が第一。三〇億枚の生産ストックが予想される今漁期前、消費者に好まれるおしいのりづくりが消費を伸ばす第一条件となりそうである。

海の子 作文募集

- 課題 暮らしの中で身近に感じていることを題材として文題は自由とします。
- 応募資格 小学校または中学校に在学している児童・生徒
- 枚数・大きさ 1部 小学校1年生～3年生 (400字詰市販原稿用紙2枚以内) 2部 小学校4年生～6年生 (400字詰市販原稿用紙3枚以内) 3部 中学生 (400字詰市販原稿用紙4枚以内)
- 応募方法 いままでどこにも応募しない作品で、ひとり1点に限ります。
- 作品には必ず ①題名、②氏名・性別、③学校名・学年を記入して、もよりの漁業協同組合(漁協婦人部)に提出してください。

全国漁村の小・中学校のみさん
毎日の暮らしの中で、限らない海や漁村への愛情や、漁業に情を出しているお父さんたちの姿が、みなさんの目にどのようにつり、それをどのように受けとめているかを作文にまとめ、ふるって応募くださるようお願いいたします。

- 締切り日 昭和55年10月13日
- 賞 全国漁業協同組合連合会会長賞 農林中央金庫理事賞 全国漁協婦人部連絡協議会会長賞(いずれも賞状と副賞を贈呈します) 問いあわせ先 各都道府県漁協婦人部連絡協議会 全国漁協婦人部連絡協議会
- 主催 全国漁協婦人部連絡協議会 後援 全国漁業協同組合連合会 農林中央金庫

7月の海況と漁況

●海況

※播磨灘……1～2日に実施した海洋観測結果では東部各層20.0℃内外を示し平年比較では表層-1.7、中・底層-0.8℃内外の低目、北西部表・底層で-1.0℃内外、南西部表・中層21.0℃、底層18.0℃台で表・底層で-1.0℃内外、南西部表・中層21.0℃内外、底層17.5℃内外それぞれ低目を示し全域にわたって低目に経過している。

※大阪湾西部(淡路島寄り)……14日の調査結果では北部各層とも21.0℃内外、南部表・中層21.0℃～22.0℃、底層20.0℃台を示し平年比較では南・北両海域とも-1.7℃～-2.4℃と前月に引続き大幅な低水温分布が持続している。

※紀伊水道北部……14日の調査結果では東部表層22.5℃、中層21.0℃、底層19.4℃。中部表・中層21.7℃内外、底層18.8℃。西部は各層とも21.0℃内外を示し平年比較では東部で各層とも-2.1℃～-3.0℃、中・西部で-1.5℃～-2.3℃と全域にわたって前月に引続いて大幅な低水温分布が持続している。

●各地

(註・以下は1日1度当りの平均漁獲量、@は1キロ当りの平均単価、何度は操業隻数)

※明石浦……小型底曳網メイタカレイ6キロ@5,500、アマカレイ6キロ@4,400@3,500、マダコ35キロ@1,000@350、エビ5キロ@1,350、クルマエビ3キロ@8,000@5,000、アナゴ5キロ@900、30度(大阪湾北西部)。メイタカレイ7キロ、マコカレイ5キロ、マダコ35キロ、エビ5キロ、クルマエビ4キロ、50度(播磨灘東部)。タコ曳網50～70キロ@1,200@350、10度(明石海峡部)。エビ溜網20キロ@1,250、@15キロ@700、20度(大阪湾・播磨灘)。各曳網タチウオ500尾1尾45、目廻り180～220g、20度。マサバ30～50尾@750、20度。スズキ4～5キロ@7,000@5,000、30度。延縄カサゴ40キロ@2,250、シログチ100キロ@400、2度。文館網イシカレイ8キロ@3,500@1,000、7度。

※若屋……小型底曳網エビ10キロ@1,800@1,000、アナゴ6キロ@750、ハモ1キロ@6,000、その他8キロ@1,000、15隻。吾智網マダイ7キロ@5,000、5隻。船曳網カタクチシラス200～600キロ@300、21統。曳網マサバ7キロ@500、5隻。各一本釣マダコ25キロ@1,290@610、70隻。スズキ15キロ@5,220、5隻。延縄カサゴ13キロ@2,040、11隻。各刺網キス10キロ@1,200、2隻。チヌ2キロ@1,300、タナゴ3キロ@1,100、スズキ13キロ@3,000、5隻。タコ壺網75キロ@900、4隻。

※由良……各小型底曳網マダイ12キロ@5,000、8隻。ウシノシタ25キロ@1,000、その他10キロ@1,000、15隻。アナゴ5キロ@700、キス4キロ@1,500、マダコ6キロ@1,000、シラサエビ10キロ@1,700、その他10キロ@400、57隻。各刺網キス15キロ@2,000、8隻。ベラ5キロ@1,500、カサゴ3キロ@1,300、アマカレイ3キロ@3,500、その他12キロ@800、10隻。各延縄キス15キロ@2,000、5隻。ベラ12キロ@1,600、その他10キロ@700、3隻。カサゴ13キロ@1,800、グチ20キロ@400、5隻。各一本釣マサバ23キロ@300、15隻。マダコ5キロ@1,200、40隻。カサゴ6キロ@1,300、15隻。マダイ2キロ@5,300、10隻。

※沼島……小型底曳網カワツエビ13キロ@1,500@600、小エビ20キロ@550、アナゴ6キロ@650、雑カレイ6キロ@800、51隻。各一本釣ヒラアジ13キロ@1,800、55隻。マルアジ20キロ@1,200、4隻。延縄カサゴ6キロ@1,100@500、1隻。各刺網アサヒタ35キロ@1,150、30隻。マルアジ60キロ@500、6隻。クルマエビ2キロ@7,000、3隻。

※福良……小型底曳網アサヒタ8キロ@1,000、シラサエビ2キロ@4,500、カワツエビ2キロ@2,000、@エビ8キロ@300、@エビ23キロ@700、ガザミ1キロ@3,000@1,200、その他15キロ@800、23隻。吾智網キス6キロ@1,550、マダイ17キロ@3,100、チヌ3キロ@1,650、フカ4キロ@500、4隻。各一本釣キス3キロ@1,800、フカ2キロ@500、ベラ2キロ@1,500(青)1,500(赤)500、40隻。ウマズラハギ35キロ@520、2隻。マダコ8キロ@1,250、35隻。船曳アジ10キロ@2,000、スズキ12キロ@3,400、メバル5キロ@1,650、カサゴ3キロ@1,500、2組。各延縄キス7キロ@1,800、ベラ3キロ@1,200、10隻。マダイ2キロ@3,100、チヌ2キロ@1,700、カサゴ3キロ@1,100、アナゴ3キロ@450、3隻。各刺網ベラ(青)28キロ@1,200、(赤)2キロ@400、スイベラ40キロ@900、カサゴ6キロ@500、2隻。アイナメ1キロ@1,500、アコオ2キロ@3,000、アマカレイ6キロ@2,000、マダコ2キロ@1,000、その他2キロ@1,000、6隻。突棒マダコ1キロ@1,100、アワビ3キロ@2,300、ムラサキウニ5枚1枚800、サルウニ20キロ@330、15隻。採貝アサリ150キロ@280、シジュウ貝5キロ@100、8隻。

※五色町島崎支所……サワラ流し網上旬4尾(平均目廻り2,690g)@1,180、17隻。中旬9尾(平均目廻り1,680g)@1,480、16隻。下旬17尾(平均目廻り1,620g)@1,220、22隻。

8月の海況と漁況

●海況

※播磨灘……4～5日に実施した海洋観測結果では東部表層24.0℃内外、中・底層22.5℃内外を示し平年比較では各層とも-2.0℃内外の低目。北西部表・中層23.5℃～24.0℃、底層21.8℃、南西部表・中層23.0℃～24.0℃、底層20.0℃内外を示し両海域とも表層で-2.5℃～-3.0℃と大幅な低目、中・底層では-1.0℃～-1.5℃で全域にわたって前月に上回る大幅な低水温分布となっている。

※大阪湾西部(淡路島寄り)……22日の調査結果では北部各層とも24.0℃内外で-1.0℃～-2.0℃、南部表・中層25.0℃内外、底層23.0℃内外で-0.5℃内外それぞれ低目で前月よりやや持ち直したものの依然として低水温分布が持続している。

※紀伊水道北部……21日の調査結果では東部表層26.5℃内外でほぼ平年並、中層24.0℃台、底層22.5℃内外でともに-1.3℃。中部表・中層25.5℃、底層21.5℃で-1.4℃内外。西部各層とも24.5℃内外で-0.8℃内外それぞれ低目を示し前月に引続き低水温分布が持続している。このように本年の異常冷夏が本月はとくに播磨灘の水温分布に顕著に現われている。

●各地

(註・以下は1日1度当りの平均漁獲量は1キロ当りの平均単価、何度は操業隻数)

※明石浦……小型底曳網メイタカレイ5キロ@5,000、@35キロ@900、アマカレイ8キロ@5,000@3,500、マダコ30キロ@700、アナゴ3キロ@1,400、クルマエビ3キロ@9,000@6,000、30度(大阪湾北西部)。メイタカレイ5キロ@35キロ、アマカレイ7キロ、マダコ30キロ、アナゴ3キロ、40度。エビ溜網@13キロ@1,350、@17キロ@900、クルマエビ4キロ@9,000@6,000、18度(大阪湾・播磨灘)。タコ曳網50キロ@1,200@400、アイナメ10キロ@400、10度。(明石海峡部)。各曳網マルアジ20～50尾1尾500、ハマチ30尾@1,150、30度(適時切替)。タチウオ100キロ@325、30隻。スズキ8キロ@7,500@4,000、20隻。延縄アナゴ40キロ@1,450、シログチ125キロ@450、2隻。文館網イシカレイ10キロ@2,150、6隻。

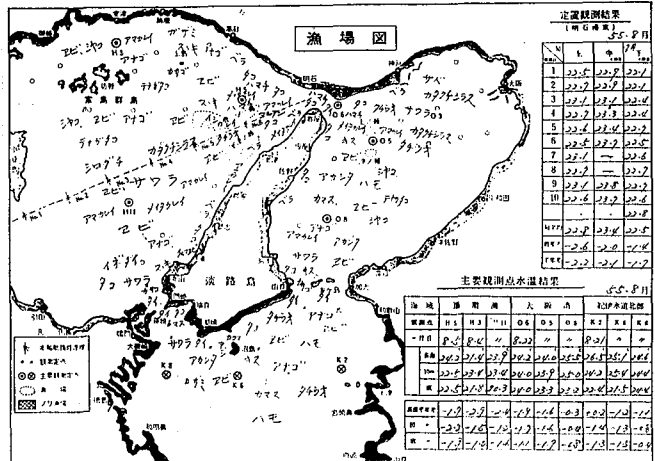
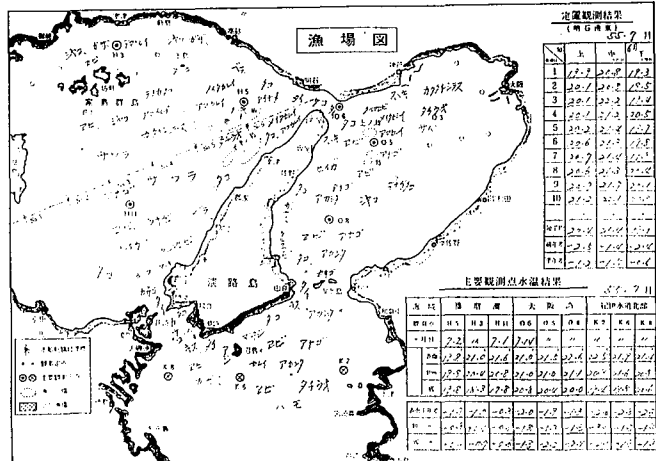
※若屋……小型底曳網エビ13キロ@1,800、アナゴ5キロ@500、その他7キロ@1,000、15隻。吾智網マダイ10キロ@5,000、5隻。船曳網カタクチシラス200～250キロ@250、21統。各一本釣サワラ2キロ@1,000、3度(下旬より)。マダコ8キロ@550、マダイ2キロ@5,500、スズキ4キロ@3,300、合計70隻。延縄カサゴ18キロ@2,700、アナゴ3キロ@610、11隻。刺網キス10キロ@1,200、2隻。タコ壺網75キロ@800、4隻。

※由良……小型底曳網マダイ13キロ@5,240、10隻。アナゴ8キロ@1,100、ハモ2キロ@4,400、マダコ4キロ@1,060、シラサエビ6キロ@2,100、その他17キロ@400、70隻。各刺網キス20キロ@2,100、8隻。ベラ7キロ@1,500、カサゴ5キロ@1,320、マダコ4キロ@1,210、その他10キロ@800、10隻。各延縄アコオ3キロ@7,000、その他20キロ@500、3隻。グチ20キロ@400、カサゴ15キロ@1,540、5隻。各一本釣マサバ3キロ@4,700、30隻。マダコ6キロ@1,180、10隻。各曳網タチウオ20キロ@1,080、15隻。サワラ7キロ@1,700、20隻。タコ壺網40キロ@1,280、2隻。

※沼島……小型底曳網カワツエビ5キロ@1,800@750、@エビ18キロ@675、ハモ2キロ@3,000g以上)、@1,500、アナゴ5キロ@750、カマス6キロ@600、キス3キロ@650、50隻。各一本釣ヒラアジ13キロ@2,200、60隻。マルアジ15キロ@1,300@800、3隻。キス4キロ@1,800、3隻。延縄アナゴ3キロ@800、エソ100キロ@80、カサゴ4キロ@1,100、2隻。各刺網アサヒタ30キロ@1,300、28隻。クルマエビ3キロ@6,500、5隻。

※福良……小型底曳網アサヒタ4キロ@1,000、シラサエビ2キロ@5,500、カワツエビ2キロ@2,000、雑エビ@10キロ@900、@2キロ@400、ガザミ2キロ@3,000@1,200、その他9キロ@500、24隻。吾智網マダイ6キロ@4,500、@1キロ@2,500、カサゴ16キロ@1,900、フカ4キロ@500、5隻。各曳網タチウオ130キロ@220、23隻。サワラ17キロ@1,500、60隻。各一本釣キス3キロ@2,200、5隻。ウマズラハギ60キロ@750、2隻。マダコ7キロ@630、15隻。延縄ハモ30キロ@4,000、フカ10キロ@100、3隻。各刺網、キス17キロ@1,700、エソ4キロ@100、カマス2キロ@1,700、5隻。タナゴ5キロ@1,500、チヌ1キロ@1,500、ベラ(青)10キロ@1,300、スイベラ10キロ@700、カサゴ10キロ@500、3隻。タコ壺網、125キロ@820、3隻。突棒サルウニ25キロ@320、アワビ1キロ@2,200、イソガイ5キロ@200、22隻。採貝アサリ90キロ@350@150、シジュウ貝3キロ@100、10隻。

※五色町島崎支所……サワラ流し網上旬30尾(平均目廻り1,400g)@1,290、21隻。中旬27尾(平均目廻り1,500g)@1,060、30隻。下旬32尾(平均目廻り1,500g)@890、30隻。



不祥事件等の再発を防止するために

漁協・漁連の事業運営上の留意事項を通達

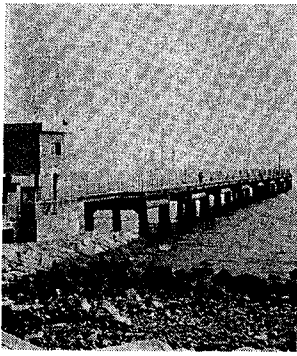
水産庁は七月三十日付(五五水漁第三九六〇号)で全漁連はじめ各漁連、漁協に対し「漁業協同組合および漁業協同組合連合会」の留意事項について長官の通達を出すとともに、同日付(五五水漁第三九六一号)で各県知事に対し、「漁業協同組合および漁業協同組合連合会」の留意事項について長官の通達を出している。漁業協同組合等については、左記事項に留意すること、その適正化についで長官の通達を出している。漁連・漁協あて長官の通達は「不祥事件の再発を防止するため、漁業協同組合および漁業協同組合連合会の執行体制、事業計画、事業の運用方針については特に留意すべき事項」と定め、各県知事あての長官の通達と前文を除く同一内容。漁連漁協あて長官の通達の内容は次のとおり。

執行体制について

漁業協同組合および漁業協同組合連合会が、所屬組合員等に対する責任を全うし、かつ、事業の遂行に必要となる教育訓練の実施等に努めること、財政面において、また、機構面においても、経営管理各層の職務の範囲と決裁の権限を明確にし、責任の所在を明らかにするとともに、資金管理、物品管理の強化のため内部

漁業活動と

海浜レジャーの調和



福泊地先に完成した遊漁センター

姫路市が市内の形町福泊地先に建設を進めていた「市立遊漁センター」が9月3日に完成オープンした。同センターは漁業活動と海浜レジャーの調和をめざしたもので、三年の工期で一億八千万円の工費をかけて建設された。つり台は桟橋スタイルで全長が三三四、一〇〇名が釣りを楽しめる。〇〇mの魚礁が投入されている。付近には八家地蔵尊があったり、小赤壁の景観が一望できる自然環境にめぐまれた所。

洋上大学生が帰国

16日間の親善交歓をおえて



近畿は一つのをスロームに近畿青年洋上大学生と共催されて今年が初めて。四三〇名の学生をのせて洋上大学生(コールドブリュンセス号、二万ト)は八月十九日、神戸を出航。旅大、上海をはじめ中国の各地を訪問。各地の青年との親善交歓によって国際的視野をひろめ9月3日、最後の訪問地神戶をあとに帰国した。

県下の漁村青年4名がこの大学に参加。帰国後は、地域の青年部活動のリーダーとして活躍することが期待されている。

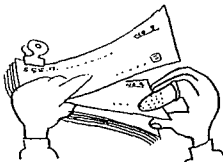
事業の運用方針について

漁業協同組合および漁業協同組合連合会の事業の運用方針を明確にせよ、その経営の安定と発展を期せられるものであることにかんがみ、関および所屬組合員との密接な連携をとることにより、販路事業における共販体制に留意することとする。

漁業協同組合および漁業協同組合連合会が、所屬組合員等に対する責任を全うし、かつ、事業の遂行に必要となる教育訓練の実施等に努めること、財政面において、また、機構面においても、経営管理各層の職務の範囲と決裁の権限を明確にし、責任の所在を明らかにするとともに、資金管理、物品管理の強化のため内部

漁協一代 (その九)

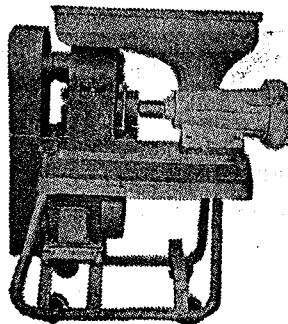
作花英治



作り精を出し、又家が割合広かったので、組合等に来る滞在客の宿を引き受けたりして随分忙しいう目をして、平均月収手取りの決着日……一月一回で元金は全然減らない状態であった。私の給料(昭和九年三月、十年三月)は勿論一家の生活に充ち小づかいは月五円(現在の三万五千、三万円)を超過すること許されなかった。しかし家計の責任は養父が持っていたので、養父のユウワン顔を見るのが屈託であったが総じて一番ノンキな二年間であった。

ところがこのノンキした日常生活に当時としてはかなりのショックな事件が発生したのである。昭和九年の三月か四月(月の記憶はアイマイ)の替五百万円(現在の百二十、五百万円)の金利を払え

養魚の調餌と造粒は コウベヒラガのミートチヨッパーで



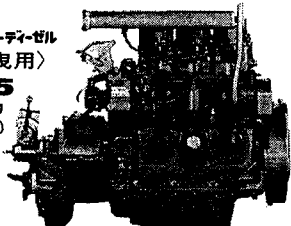
養魚用ミートチヨッパー/632から/672まで各種製作しています。又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チヨッパーで給餌することもできます。

(脚一報次第カタログ贈呈いたします)

ミートチヨッパーとプレート、ナイフの専門工場
株式会社 平賀工作所
神戸市長田区水笠通5番5号
TEL 代表神戸(078) 921-1527

余裕の出力、曳き力抜群!

船用主機ヤンマーディーゼル
(内海底曳用)
3EN15
(定格15馬力 / 1440回転)



●船主機用3.0~2400馬力●
●船捕機用3.5~3600馬力●
ヤンマーディーゼル

Yanmar Diesel Engine Co., Ltd. (Yanmar Diesel Engine Co., Ltd.)

